



令和5年度 卓越した技能者（現代の名工）

今年で57回目を迎える、卓越した技能を持ち、その道で第一人者として目されている技能者を表彰する「卓越した技能者（現代の名工）」に福岡県から3名の方が選ばれ、うきは市の岩永克也さんが選ばれました。

岩永さんは、筑後川温泉 桑之屋の料理長を務めながら子ども達への食育活動、若手調理師への調理技術指導、また、老人ホームへの慰問料理や、被災地での炊き出し等を行い、業界発展・社会貢献に尽力しています。

さらに、日本の伝統文化である庖丁道の最高位奥殿を取得し、日本庖丁道大草流保存会会長として、技能伝承にも務めています。



大草流庖丁道とは

食儀礼および礼式の流派の一つ。室町時代に、室町幕府奉公衆の大草三郎左衛門公次により創始されたもの。儀式の際は、庖丁と真魚箸を使用して素材に一切手を触れることなくさばっていく。

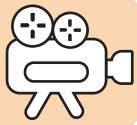


福岡マラソン 2023 女子4位

11月12日に開催された福岡マラソン2023で浮羽町在住の坂本直美さんが総合4位（2時間58分15秒）となり、市長を表敬訪問しました。

坂本さんは市スポーツ推進委員としても活動をしており、日頃からランニング教室を開催し正しいランニングフォームを教えたり、楽しく走るための活動をされています。





災害への寄付金として ご寄付をいただいた皆様ありがとうございました。

令和5年7月豪雨による災害に対してのご寄付を多くの企業・個人の方よりいただいています。

22,490,287 円

 (11月30日現在)

いただいた寄付金、支援金は復興に対して活用させていただきます。



浮羽ロータリークラブ



福岡都市圏広域行政事務組合



株式会社ほっとエコライフ



福岡地区水道企業団



福岡県市長会



うきは市商工会青年部



中野浩一カップ
チャリティーゴルフコンペ



税の作文表彰

12月19日、国税庁等が毎年実施している税についての作文の表彰が行われました。

久留米税務署管内で高校生1,059編、中学生803編の応募があり、浮羽中学校2年 溝田奈央さん（写真左）が「ふるさと納税について」で、浮羽^{みぞた なお}究真館高校1年 杉結理奈さん（写真右）が「税について考えたこと。」で共にうきは市長賞を受賞されました。



吉井小学校 こども防犯教室

12月12日、吉井小学校で株式会社にしけいによるこども防犯教室が無料で開催されました。

この防犯教室は小学校低学年以下を対象としたもので、危険から身を守るために覚えてほしい標語「いかのおすし」を、にしけいのキャラクター達と一緒に歌って、踊って楽しく学んでいました。

- 「いか」 = (知らない人について) いかない
- 「の」 = (知らない人の車には) のらない
- 「お」 = おおごえを出す
- 「す」 = すぐに逃げる
- 「し」 = (おとなに) 知らせる



ねんりんピック「健康マー جان」優勝

10月30日、愛媛県で開催された「ねんりんピック愛顔のえひめ2023」健康マー جان 団体の部で、福岡県代表「福岡どんたくチーム」が優勝し、メンバーの一人で吉井町在住の田籠通保さんが報告に訪れました。

県代表として4回目の出場となる田籠さんは、全国69チーム（47都道府県+20政令指定都市+愛媛県2）の中、念願の初優勝を飾りました。

田籠さんは、吉井コミュニティセンターで開催されている健康マー ジャン教室で日々腕を磨いているとのことでした。



福岡国税局酒類鑑評会 金賞受賞

福岡国税局が主催の北部九州3県で製造された酒類の鑑評会で、市内唯一の酒造会社である株式会社いそのさわの純米酒 駿が純米酒の部で金賞を受賞しました。

うきはの名水で醸した日本酒「駿」シリーズは、フランス・パリで行われた日本酒コンクール「Kura Master 2023」でプラチナ賞、2023全国燗酒コンテストでも金賞を受賞するなど、長い歴史の中で培った技術と伝統の酒造りが国の内外で高い評価を受けています。



浮羽消防署管内初 消防水利協定

11月24日、久留米広域市町村圏事務組合（久留米広域消防本部）と両筑生コンクリート協同組合が災害時における消防水利の供給支援に関する協定書を締結しました。

この協定は、大規模火災が発生した際など消防水利が不足した場合に、迅速に消防水利を確保するため、コンクリートミキサー車に水を積載し火災現場へ輸送供給できるように締結したものです。

久留米広域消防本部 黒岩消防長は「地域住民の身体・生命の安全に役立つ。心強くありがたく思っています」

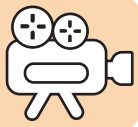
両筑生コンクリート協同組合 本田理事長は「企業として地域の皆様へ恩返しができる」と語っていただきました。



福岡県教育文化表彰

教育や学術、文化、スポーツの振興に貢献した個人と団体をたたえる県教育文化表彰の教育行政部門で、今年度うきは市前教育長の麻生秀喜さんが受賞しました。

麻生さんは、市内小中学校の一人一台タブレット端末の早期導入に取り組み、学校情報化先進地域の認定を受けたほか、感染症対策と学びの保障の両立に向け、全教職員のICTスキルの向上に努めるなど、教育行政の振興に功績が認められての受賞となりました。



大石小学校 租税教室

うきは市では、次の世代を担う小学生や中学生の皆さんに税金への関心を高め、税金の意義や役割を正しく理解してもらうため、管内の税務署などと協力して設置している「租税教育推進協議会」の一員として、税務に携わる市職員が派遣講師となり租税教室を行っています。今年の一部授業には、ルリー口福岡の選手も参加し、租税教室を行いました。

子ども達は授業を通して税についての理解を深め、最後に重さ約10キロの1億円レプリカを持ち、お金の重さに驚いていました。



生きるはつくれる この本を読んで気づいてほしい ひとりひとりのキラキラの命に

11月7日、イラストレーターの山本美奈子さんから市内の小中学校と図書館に絵本「ぼくはマハロ」を寄贈頂きました。

養護教諭だった梶原英子さんががん闘いながら感じた「生きる」を愛犬マハロを主人公にして書き上げた文、そこに山本さんがイラストを、岡野千晴さんがデザインを担当し生まれた絵本です。

この絵本を携え生の言葉で全国周りながら「いのちの授業」をしよう!そこから始まった絵本プロジェクトでした。梶原英子さんは本年9月に旅立ってしまいましたが、この絵本が全国の人たちに彼女の想いを繋げてくれています。



ゴディバ ジャパンとうきはのフルーツで懇談

世界で愛される、ベルギー・ブリュッセルで誕生したプレミアムチョコレートブランド「ゴディバ」は、毎年秋から春にかけて、全国の百貨店でうきは市産の果物を使ったスイーツを展開しています。

令和5年11月6日、東京都のゴディバ ジャパン株式会社にて、ジェローム・シュシャン代表取締役社長と高木市長の懇談が行われ、この5年間の取り組みへの感謝を伝え、今後について協議しました。



帝国ホテルでうきはの食材を使ったディナーイベント

11月6日、帝国ホテル 東京にて、第14代料理長である杉本料理長が贈るディナーイベント「サンセリテ」が開催されました。

10月に杉本料理長が自らうきは市を訪れ、選りすぐりの果物や野菜、卵、肉、粉物類を使用したディナーイベントでした。うきははテロワール食材を利用した7品は、お客様や帝国ホテルのスタッフから大変好評でした。